

令和4年度 地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	詳説日本史（山川出版社）						
副教材等	新詳日本史（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

「資料をよむ・そして考える」学習を随時取り入れ、日本史学習への関心を高めます。原始・古代から戦後までの学習については、地理・公民・特別活動との連携や国際環境との関連を重視する中、広い視野から多面的・多角的に歴史的事象を考察します。その際、「資料にふれる」や「主題を設定し追究する学習」を適宜取り入れます。また日本文化の学習については生活文化や民俗学の視点も踏まえ、特色と形成過程を総合的に考察します。

◇ 授業では、板書やプリント等を併用しますので、ノートを用意して下さい。

◇ 教科書の他、副教材の図説や資料集も使用しますので、忘れずに持ってきて下さい。

通常の系統的学習の他、「歴史の考察」や「主題を設定し追究する学習」などではレポートの提出や発表を行う場合がありますので、自分の視点や考察した考えをまとめて表現できるよう念頭に置いて学習して下さい。

2 学習の到達目標

日本の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、日本の文化を伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、市民としての自覚を国際社会に主体的に生きる一員としての資質を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、市民としての自覚と国際社会に生きる社会の一員としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界的視野に立って多角的に考察し日本の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	日本の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し活用することを通じて歴史的事象を追究する方法を身につける。	日本の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身につけている。
評 価 方 法	作業プリント 問題プリント 発問評価 授業態度	作業プリント 問題プリント レポート 発問評価 授業態度	作業プリント 問題プリント 定期テスト 発問評価 授業態度	作業プリント 問題プリント 定期テスト 発問評価 授業態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第3部 近世	<p>第6章 幕藩体制の確立 ア織豊政権</p> <p>* 大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。</p> <p>* 織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義について理解する。</p> <p>イ桃山文化</p> <p>* 新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、考察する。</p> <p>ウ幕藩体制の成立</p> <p>* 江戸幕府の成立による幕藩体制の確立を多面的・多角的に理解する。</p> <p>* 江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではなく、鎖国後の貿易関係の在り方も含めて影響と歴史的意義について理解する。</p> <p>第7章 幕藩体制の展開 ア幕政の安定</p> <p>* 17世紀後半から18世紀</p>	○	○			<p>a: ヨーロッパ世界と日本の接触について興味を持ったか。</p> <p>b: 鉄南蛮貿易の展開を踏まえてヨーロッパ世界との接触とその影響について考察できたか。</p> <p>b: 検地や刀狩にみられる兵農分離策を踏まえて、織豊政権の統一過程とその政策を考察できたか。</p> <p>c: 政策の流れを資料から読み解くことができたか。</p> <p>b: 桃山文化と、秀吉の朝鮮侵略や南蛮文化に着目して考察できたか。</p> <p>b: 幕府と藩・朝廷・寺社との関係、封建的身分秩序の形成などを考察できたか。</p> <p>c: 初期外交から鎖国について考察できたか。</p> <p>b: 文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治を取り上げ、幕政の安定過程を考察できたか。</p>	<p>a: 作業プリント・問題プリント・発問評価・授業態度</p> <p>b: 作業プリント・問題プリント・レポート・発問評価</p> <p>c: 作業プリント・問題プリント・定期テスト・発問評価</p> <p>d: 作業プリント・問題プリント・定期テスト・発問評価</p>

	<p>* 前半までの江戸幕府の安定期についてその平和と秩序確立の視点で考察する。</p> <p>イ経済の発展</p> <p>* 幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて理解する。</p> <p>ウ元禄文化</p> <p>* 経済の発展と関連して町人文化が形成された事について、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。</p> <p>第8章 幕藩体制の動揺 ア幕政の改革</p> <p>* 農村や都市が変化して幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が対処した諸改革についての特徴を理解する。</p> <p>イ幕府の衰退</p> <p>* 欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。</p> <p>* 近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、地方からの視点を踏まえて理解する。</p>		○			<p>b:農業生産の進展、産業の発達と多様化、商品経済・流通の発達、三都の発達に見える都市の経済を考察できたか。</p> <p>c:元禄文化について、町人の経済的繁栄や商業活動の拡大など資料を活用しながら、考察できたか。</p> <p>a:幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が対処した諸改革について関心を持ったか。</p> <p>b:幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに着目して、享保の改革・田沼時代・寛政の改革を中心に考察できたか。</p> <p>b:列強の接近に伴う諸事件による鎖国政策への批判や失政を踏まえて、幕府の衰退をみる事ができたか。</p> <p>d:農村の家内工業から近代工業の芽生えが始まったことについて理解できたか。</p> <p>b:諸藩の財政・軍事再建から雄藩が出現する過程を考察できたか。</p>
--	--	--	---	--	--	--

		<p>リ化政文化</p> <p>* 化政文化について、学問・思想・美術・生活文化の新たな展開に着目して、文化の中心であった江戸はもとより地方文化の成長にも留意して考察する。</p>		○			<p>b:幕藩体制に批判的な化政文学、洋学・国学など新たな学問・思想、寺子屋などの庶民教育機関の普及、浮世絵に象徴される出版文化の発達などに着目して考察することができたか。</p>	
2学期	第4部 近代・現代	<p>第9章 近代国家の成立</p> <p>ア 開国と幕末の動乱</p> <p>* 開国から明治維新に至るまでの過程について、国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目する。</p> <p>* 天皇中心の統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡に至るまでを理解する。</p> <p>イ 明治維新と富国強兵</p> <p>* 明治新政府の諸制度の改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を理解する。</p> <p>* 欧米の文化・思想の影響により日本を欧米諸国と同等の位置へ引き上げようとする一連の近代化政策がとられ、それが日本人の近代への覚醒をもたらせたことを理解する。</p>	○	○	○	○	<p>a:近代国家の成立に関心をもって学習に取り組むことができたか。</p> <p>d:日米和親条約・日米修好通商条約の締結、幕末の政局の転換を理解できたか。</p> <p>b: 天皇中心の統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡に至るまでを理解できたか。</p> <p>d:明治維新の意義を理解できたか。</p> <p>b:廃藩置県・四民平等・地租改正・殖産興業政策など、強力な中央集権体制を構築していく過程を考察できたか。</p> <p>c:欧米文化の導入による文明開化とアジア政策などを資料から読み解くことができたか。</p> <p>d:欧米文化の導入による文明開化とアジア政策など、多面的・多角的にとらえることができたか。</p>	<p>a:作業プリント・問題プリント・発問評価・授業態度</p> <p>b:作業プリント・問題プリント・レポート・発問評価</p> <p>c: 作業プリント・問題プリント・定期テスト・発問評価</p> <p>d:作業プリント・問題プリント・定期テスト・発問評価</p>

	<p>ウ立憲国家の成立と日清戦争</p> <ul style="list-style-type: none"> * 政府の強力な中央集権体制の志向の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 * 欧米諸国と対等の地位に立つために国家的課題であった不平等条約の改正を行い、東アジアへの進出により欧米列強への仲間入りを目指した経過について考察する。 <p>エ日露戦争と国際関係</p> <ul style="list-style-type: none"> * 日露戦争の勝利による欧米列強の仲間入りの経緯とその後の植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連付けて考察する。 * 立憲体制成立後から第一次世界大戦にいたるまでの国内政治の動きを、政党と藩閥の抗争などの視点から理解する。 <p>オ近代産業の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> * 日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を考察する。 * 近代産業の発展に伴う社会問題・労働問題の発生や、国民生活の向上について考察する。 					<ul style="list-style-type: none"> ○ d:日本が近代国家として国際的地位を確立するため、条約改正やそれに伴う諸法典の整備など国内体制の確立を図り、朝鮮問題を機とする日清戦争により欧米に近付こうとした点について理解できたか。 ○ b:日露戦争における日本の勝利とその後の韓国併合や満州への進出について考察できたか。 ○ b:立憲政友会の成立から桂園時代に至る過程について、考察できたか。 ○ ○ c:繊維・軍需産業の発展、重工業の形成など資本主義の確立過程を総合的に理解できたか。 d:繊維・軍需産業の発展、重工業の形成など資本主義の確立過程を総合的に理解できたか。 a:寄生地主制の進展、社会運動の発生、大逆事件などに着目できたか。 c:出版・交通・通信などの面で生活様式が近代化した身近な例を見つけられたか。 	
--	---	--	--	--	--	--	--

	<p>会の基盤の成立に着目し、市民文化の特色について理解する。</p> <p>ホ恐慌の時代</p> <ul style="list-style-type: none"> * 戦後恐慌・昭和恐慌に至る国内外の状況について、経済対策はもとより政治・経済の動揺にも着目して理解する。 * 社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折について考察する。 <p>カ軍部の台頭</p> <ul style="list-style-type: none"> * 日本の対外政策の推移と、世界情勢や軍部の政治的進出の拡大による政党内閣の崩壊過程を考察する。 * 恐慌から脱出し、ナショナリズムが高揚するなか、ますます軍部の影響力が増大していく過程を考察する。 <p>キ第二次世界大戦</p> <p>日中戦争勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。</p>					<p>きたか。</p> <p>○ d:戦後恐慌・関東大震災・金融恐慌・金解禁・世界恐慌・昭和恐慌・農業恐慌などについて理解できたか。</p> <p>b:協調外交から山東出兵などの積極外交へと転換していく過程を考察できたか。</p> <p>a:満州事変から国際連盟の脱退に至る日本の対外政策について、関心を持って学ぶことができたか。</p> <p>b:五・一五事件、二・二六事件以降の大軍拡への過程を考察できたか。</p> <p>b:中国の動向など国際関係の変化、日中戦争・第二次世界大戦・太平洋戦争それぞれの性格を考察できたか。</p> <p>c:中国の動向など国際関係の変化、日中戦争・第二次世界大戦・太平洋戦争それぞれの違いを資料から読み解くことができたか。</p>
--	---	--	--	--	--	---

3 学期	<p>第 11 章 占領下の日本 ア 占領と改革</p> <p>* 占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を理解する。</p> <p>* 戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を理解する。</p> <p>イ 冷戦の開始と講和</p> <p>* 東アジア情勢の変化を踏まえ連合による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。</p> <p>* 連合による日本の占領が終結したこと、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。</p> <p>第 12 章 高度経済成長の時代 ア 55 年体制</p> <p>* 独立後の日本国内政治について、55 年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。</p> <p>* 冷戦構造に雪解けの状況が生まれる中、日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・ソ連・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。</p>	○	○	○	○	<p>a:総力体制などを踏まえ、日本がアジアの諸国に与えた損害や広島・長崎への原爆投下など日本の戦禍の実態に着目できたか。</p> <p>b:日本国憲法制定の経緯と意味を考察できたか。</p> <p>d:中華人民共和国の成立、朝鮮戦争の勃発の経緯を理解できたか。</p> <p>b:占領政策の転換について考察できたか。</p> <p>c:日本の主権回復の意義と日米安保条約の締結の意味を理解できたか。</p> <p>a:保守合同から経済成長を背景とした安定した保守政権の誕生に至るまでを考察しようとしたか。</p> <p>b:保守合同から経済成長を背景とした安定した保守政権の誕生に至るまでを理解したか。</p> <p>c:MSA 協定・新安保条約・日ソ共同宣言・日韓基本条約・LT 貿易などを取り上げ、外交・政治の再編過程を把握できたか。</p>	<p>a:作業プリント・問題プリント・発問評価・授業態度</p> <p>b:作業プリント・問題プリント・レポート・発問評価</p> <p>c:作業プリント・問題プリント・定期テスト・発問評価</p> <p>d:作業プリント・問題プリント・定期テスト・発問評価</p>
---------	--	---	---	---	---	--	---

